

令和6年度 第2回「特別支援学級運営充実推進委員会」会議録

「トライアル調査の結果報告と本調査に向けたアンケート内容及び回答方法等の改善について」	
(1) 児童生徒・保護者用	
委員長	<p>それではここからは私の方で進行をさせていただきます。 よろしくをお願いします。</p> <p>先程、ご挨拶にもありましたように、この委員会の1回目につきましては、色々な観点から御意見をいただきました。</p> <p>コンサルテーション、eラーニング、関係機関との連携、今回の評価の仕方等、それぞれのお立場から、たくさんの御意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>今回は、特別支援学級についての保護者と本人の評価、そして担任自身の評価をどのようにしていくかについて、協議をいただきます。</p> <p>内容が深くなりますが、色々な意見をいただきたいと思います。</p> <p>どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>早速ですが、事務局の方から児童・生徒・保護者用のアンケート調査につきまして、ご説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明)</p>
委員長	<p>今、事務局の方から資料に沿ってご説明をいただきました。</p> <p>今日ご参加の4校の学校でトライアル調査しましたけれども、今回は新担任ではなく、特別支援学級の先生の皆さんにアンケートをしていただきました。アンケートをされた中で先生方や保護者の方から質問や御意見がありましたら、聞かせていただきたいです。</p> <p>学校の方で何かございませんでしたか？</p>
委員	<p>特にありません。アンケートをしていただいた後でもありませんでした。</p>
委員長	<p>分かりました。他はどうですか？</p>
委員	<p>保護者からの質問等はありませんでした。</p>
委員長	<p>担任の先生方からはどうですか？</p>

委員	学校の先生からもなかったです。
委員長	結構スムーズにいったのですね。
委員	回答の遅い家庭があったので回答を促しました。その家庭は、最終的に紙でアンケートに回答し、学校へ提出していただきました。その後、学校で入力しました。
委員長	Forms での入力が苦手なご家庭なのですね？
委員	はい。操作が苦手だったりとか、お忙しかったりとかが理由のようです。
委員長	ありがとうございます。他はどうですか？
委員	子どもに配るときにアンケートの内容について説明しました。「1 番から 5 番はお家の人と一緒にやってね。」と言って、配りました。 何日かかけて、子ども達全員がお家の人に渡したことは、確認しました。 ですが、アンケートをしてくれたかどうかの確認も子供達にしたので、全員が回答してくださったかどうかは、はっきりしません。普段、何か返事が要るものについては、保護者へ電話で確認しないと揃いにくいことがあります。しかし、子ども伝いで聞いた感じでは、3 家族ほどが回答してくださったようです。
委員長	その他の学校はどうですか？
委員	児童・保護者からの質問は特になかったと聞いています。 アンケートなので確認はしていませんが、1 回だけ「出してください。」の声かけをしました。 担任の方からも問合せはありませんでした。本校でもどのぐらいのパーセンテージで回答したかは、担任も私も分かりません。
委員長	これは実際に分からないようなシステムでやっているのので、どの方が回答したかは全然わかりませんよね。 内容的に何を記入したかも分からないし、回答したかしていないかも分からない。全てにおいて、プライバシーを尊重した形の中で実施しているので、生の声は聞けたと思いますが、追跡という観点からすると弱かったのかもしれませんが。しかし、これでいいのではないかと思います。 本調査も同じ様な形でやってみて、問題点を出してみるのもいいかと思います。議論を深めたいのは、トライアル調査で全体の 60% ぐらいの回答率を得ることができたことについてです。先ほど、事務局からの説明の中で、一般的に Forms 等インターネットを利用したアンケートでは、30% の回答率が一般的であると説明がありました。それで言うと、今回の回答率は、60% なので、ほまいい結果

委員	<p>ではないかと思えますね。</p> <p>本調査に向けて、質問の内容の全般を通じて、保護者・生徒用で何かこうした方が本調査に向けていいのではないかと思う点や気付いた点等何でも結構ですので、御意見はございませんか？</p> <p>トライアル調査の結果報告の12番のことですけれども、設問で学校・家庭、福祉サービスが3つ並んでいて、家庭でのことは分かっているけれども福祉サービスのことは分からないということがあるのではないのでしょうか。「学校と家庭で、サービスについて情報共有ができていますか？」ということであれば、イメージしやすいと思います。「学校と家庭と福祉サービスは」の表記が3つ並んでいるから答えにくいのかもしれません。</p>
委員長	<p>この質問だけでは、学校と福祉サービスが情報交換していることを聞いているのか、もっと具体的なことを聞いているのかわかりにくいですね。また、自分の子どもの支援についての情報共有なのか、ケース会議のことなのか迷うところがあったかもしれないですね。</p> <p>ここは、関係機関との連携をきちんとしているかという点を保護者の方がどう評価しているかを知りたいという質問ですね。</p> <p>関係機関として考えられるのは、放課後児童クラブや放課後等デイサービス等たくさんあります。関係機関との連携は、大きな柱の1つでしたが、質問項目にあげるとなると、難しいですね。急には、いい方法は思いつきません。</p> <p>この質問は一度原点に戻って、関係機関との連携の中で、放課後等デイサービスと放課後児童クラブに絞ると、利用している人だけが答えることができますが、利用していない特別支援学級のお子さんもたくさんいます。そのお子さんも他の関係機関と連携しているのに、回答することができないというミスが起こってしまっていますね。</p>
委員	<p>元に戻したらいいのではないのでしょうか？</p> <p>「具体的に放課後等デイサービス等と聞かないでもいいのではないのでしょうか？</p> <p>他の質問で、学校と家庭の関係性については、回答が得られているので、ここは学校も含めた家庭と関係機関の連携なので、1つ1つ具体的に「学校・家庭・福祉サービス」と出してしまうと窮屈になるのではないのでしょうか。</p> <p>むしろ1番最初のとおり、関係機関という言葉を使ってもいいのではないのでしょうか？むしろその方が分かりやすいと思います。</p>
委員	<p>「学校・家庭・福祉サービス」とあるが、ここに入っている「家庭」が自分です。自分は、学校と放課後等デイサービスと一緒に話していることを見たことがあります。家庭は、学校とのやり取りと、放課後デイサービスとのやり取りとがあります。別々にあるため、学校と放課後デイサービスとのやり取りは見えてこないで回答ができないと思います。</p>

	<p>例えば、ケース会議のように寄って話をする場があったら、関係ややりとり等が分かると思うのですが。</p> <p>「学校と福祉サービスはお互いに」という問いになったら、親としてはどうなっているのかが分からないから、回答するのが難しいと思います。</p> <p>関係機関との連携においても、施設がしていることを知っている親も知らない親もいます。学校と施設側とでやりとりや連携をしていたとしても、実際は見えないから、「連携していない」や「わからない」という回答になると思います。</p>
委員長	<p>学校と福祉が連携していても親は参加していないから見えないから答えられないということですね。</p>
委員	<p>6, 7の問いにも、「学校は」とあるが、実際、どのような対応をしているか等見えていないからわからないと思います。学校の様子は、参観日以外は見ないから、わからない。真面目な人ほど答えられないと思います。子どもが毎日、機嫌良くしている。だから、多分上手に対応してくれているのだろうという憶測で回答する人はこんな疑問は持たないのだと思います。</p>
委員	<p>ここまでの話を聞くと、やはり、問12の「学校・家庭・福祉が」というのは、見えないことが多いと思う。「学校と家庭」「家庭と福祉」「学校と福祉」それぞれでは、連携をしていると思うが、「三者で連携しているか」になると、回答が難しいと思います。</p>
委員長	<p>このままいったら、時間が足りないので、これはここで置いておきましょう。</p> <p>福祉と学校が連携していても親には見えていないので、答えようがない。</p> <p>常に保護者が3者面談のように入っているわけではないので、それを質問の内容としてアンケートの項目に入れるか、この項目は外すのか、どちらかですね。</p>
委員	<p>特別支援学級での教育と、福祉の連携が成り立っているかどうかということが知りたいのでしょうか？最終的に何を把握したいのでしょうか？</p>
事務局	<p>元々の起りは、色々な諸課題を学校や担任一人で抱え込むのではなく、関係機関と連携したり、力を借りたりしながら、より良い教育環境を作っていきましょうというのが原点でした。</p>
委員	<p>子どもは学校でいるときの姿と、家庭でいる姿、放課後等デイサービス・福祉サービスでいる時の姿は、それぞれ違うのだろーと思います、それぞれが何かあった時に、情報交換をしながら「こんなことがあって、こういうふうに対応しました。」などの情報のやりとりが上手くいけば、子ども達にとって、支援の在り方等の方向性が見えてくるのではないかとということが連携の根本だったと思います。</p>

事務局	<p>原点に戻ってと話しましたが、連携に関することを聞くのであれば、保護者ではなく学校に聞くべきではないかと、御意見を聞かせていただきながら、考えておりました。そもそもこの連携に保護者が入っているのには、無理があるのかもしれない。</p>
委員	<p>他の保護者は「学校と福祉が連携して、自分の子のために何かしてくれているんだ。」という認識があるのかどうか聞いてみたいです。私は、学校と放課後等デイサービスがどんな話をしているか分らないです。</p> <p>どんな連携をしているのか、具体的には分らないけれど、何となくでも、子どもの普段からの様子で連携しているかどうかを、知りたいのかなと思いました。</p>
事務局	<p>委員が発言されたような内容を自分も知りたかったが、保護者はそれが見える状態ではないので答えにくいということもよくわかりました。</p>
委員	<p>言葉のあるお子さんだったら何かの時に、聞き取れると思うが、聞き出せないお子さんだったら難しいと思います。</p>
委員	<p>家庭にとって、「学校と福祉の連携をきちんと分かってもらっていますか」という質問であればいいのだから、確かに見えづらい部分だと思います。アンケートなので「分らない」というのも結果として事実として捉えて、ではどうするのかという考え方もあるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>実際に児童クラブの方と対象の児童の対応をどうするかについて、よく話をして、連携をとっていましたが、三者（学校・児童クラブ・保護者）で一緒に話をする機会を持つことはありませんでした。児童クラブと保護者、児童クラブと学校、保護者と私という感じで話をして、共有はしていました。</p> <p>例えば、「今日は、学校でこんなトラブルがあったので、少し落ち着かないかもしれません」とか「少しおなかが痛いといっていました」とか、児童クラブの方に下校の際に学校の様子を伝え、共有する。それを、また保護者につないでもらい、共有するといったことはあります。</p>
委員	<p>放課後等デイサービスからも、情報を共有してもらうこともあります。</p> <p>ただ、やはり、トラブルや気になる行動が多い子どもは、情報共有することがおのずと多くなります。しかし、トラブルもなく、おとなしかつたり、落ち着いていたりする子については、ほとんど情報共有することがないですね。もしかしたら、そういったお子さんの保護者ほど、学校と福祉の連携について、見えにくいかもしれません。</p>
委員長	<p>トラブルがある子ほど連携するが、トラブルがない子は見えにくいのですね。</p> <p>元々、この特別支援学級運営充実推進委員会を立ち上げた時の考え方は、「特別</p>

	<p>支援学級の担任の先生とお子さんを二人ぼつちにしない」というものでした。担任の先生も専門性を高めると共に、学校の校内支援体制も充実させて学校全体で先生も子どもも支える。また、特別支援教育の専門性が高い機関、例えば、専門家チームや特別支援学校や小中の巡回相談員等に入ってもらって、教えてもらって、子どもに適した支援方法を獲得し、専門性を高めていくという考えでスタートしました。最初は教育の中での関係機関との連携でした。その輪を広げていく中で、医療や福祉の関係機関との連携へとつながっていったんですね。</p> <p>保護者の中には、「放課後等デイサービスとは、連携していないけれど、医療や他の福祉機関とは連携している」という人が多くなっています。それが、問12の設問は、放課後等デイサービスとの連携に焦点化してしまっているの、見えてこないとか、わからないとなり、回答できない方が出てしまったのでしょうかね。</p> <p>トラブルや問題があった人には答えやすく、無い人には答えにくいような質問では困ります。関係機関との連携において、放課後等デイサービスや児童クラブを利用している人しか答えられないような質問ではなく、もっと広く聞くことができる質問でなければならないですね。質問内容を修正するのか、質問を無くすのか、事務局の方で検討してください。</p>
委員	<p>問9において、もっと具体的な例を出して、質問すると答えやすいと思います。例えば、「困った時すぐに相談できる」とかです。</p> <p>問6も「実態を踏まえた対応」と読んだ時に、保護者は分かりにくいかなと思います。やっぱり具体的な例を出してもらえると、「あーあの時、こんな風に支援してくれたな」とイメージもしやすいし、答えやすいと思います。</p>
委員長	<p>例えば問9だったら、「互いに相談しやすい関係」といったらかなり抽象的ですね。今、言われたように少し例のようなものをつける。「困った時に聞ける等」「互いに相談しやすい関係である」としたらどうでしょうか。絞り込まない程度に例示的なものをつけると、答えやすくなりますね。</p> <p>判断基準が難しい質問が他にもあるようでしたら、おっしゃってください。分かりやすい質問にしましょう。せっかくのトライアルです。トライアルの結果で改善できることは改善した方が良いので。たくさんよい意見が出ているのでもう少し他にありませんか？</p>
委員	<p>本校には、兄弟で特別支援学級に在籍している家庭があるのですが、今回は生徒数に合わせて保護者は2回答えています。</p> <p>この場合は子どもか保護者かどちらを優先するか、家庭数で言えば、1件でよいですか？</p>
委員長	<p>兄弟がいる場合は、どうしましょうか。例えば兄と弟で、違う答えが出てくるのでしょうか。</p>

委員	<p>兄弟でそれぞれ個性が全然違う。それぞれに対して、回答を得る方がいいと思います。</p> <p>質問に「学校は」と書いているが、対応するのは担任の先生を思い浮かべる。学級にしたら、担任の先生に全部の責任がいつってしまう。対応していないとなると、担任はどうなっているかと問われる。学級ができていないということは、校長先生をトップとした学校の問題です。</p> <p>保護者が回答する時は、おのずと学級や担任をイメージして回答するが、評価されるのは学校になりますね。</p> <p>主語を「学校は」ではなく「学校で」にするのは、どうでしょうか？</p>
委員長	<p>今のことに関して、兄弟がいる場合については、兄弟それぞれに保護者さんに回答してもらおうのでいかがでしょうか。</p>
委員	<p>子どもを中心において、その子を中心に評価していただくという捉え方ですね。</p>
委員長	<p>そうです。</p> <p>「学校は」というと、回答が難しくなるが、学級や担任をイメージしたら回答しやすいですね。</p>
<h2>(2) 担任用</h2>	
委員長	<p>では、次に担任用の報告をお願いします。</p> <p>(事務局説明)</p>
委員長	<p>今の説明について、質問・意見はありませんか？</p> <p>今回は新担任者ではなく、4校の特別支援学級の全ての担任の先生が対象です。アンケートの質問項目で、回答しにくい項目はなかったということで、10人中10人が「良かった」という意見なので、回答はスムーズにできたかと思いますが、アンケートをしてみて、委員のみなさん、何かありませんか？</p>
委員	<p>私自身は困ることはなかったのですが、他の先生方から、6番の「活用している」の頻度について質問がありました。1回でもしたらいいのか、2回以上だったら「とてもあてはまる」になるのか等、どう判断したらいいのかという質問がありました。</p>
委員長	<p>確かに、人によって「活用している」に対する判断基準が変わってきますね。1回でもしたことがあったら「している」にする人、1回しかしていないから、「で</p>

	<p>きていない」にする人、さまざまですよ。 他、いかがでしょうか？</p>
委員	<p>本校でも特に質問等はありませんでしたが、本調査を行う新担任者の先生であれば、経験が少ないと思うので、アンケートに回答する際に「学校ではしているが、自分ではしていない」ということが出てくると思います。</p>
委員長	<p>「学校ではしている」ということは、別の特別支援学級の先生はしているが、私はしていないということですか？</p>
委員	<p>例えば、自分はケース会議には参加してなくても、学校ではしているとか、色々な場面があると思います。だから、「あてはまらない」という項目がトライアル調査より増える可能性はあると思います。</p>
委員長	<p>質問の内容によっては、何年か特別支援学級の担任の経験がある人は「あてはまっている」または「少しあてはまっている」になるが、新担任者はまだ経験が浅いので、まだそういう状況に出会っていないということが起きる訳ですね。</p>
委員	<p>本校は特別支援学級が2クラスなので、担任は2人です。 私も実際にアンケートに回答してみて、「あてはまる」と胸を張って言えるところと、そうでないところがまだあるなと思うところが正直ありました。</p>
委員長	<p>自己評価の難しいところですね。 このように、何をもって「あてはまる」とするかという部分が難しい。機械的に何点何点と出てくる訳ではない。主観で付けるものだから、先程の間6「活用している」という項目は、「1回でも活用している」や「何回やったら、あてはまるになるか」等をどうしたらいいでしょうか？</p>
委員	<p>10名なので、そういうこともあるのではないのでしょうか。 1人だと10%。対象が10人だと「あてはまらない」という人も出てくる可能性が高いので、パーセンテージは例示のような形でどうでしょうか？ このアンケートは、新担任者向けに今回はするが、できるだけ全ての先生方、ベテランの先生方にこんなアンケートをしていただくというのが、大切なことではないでしょうか。問2については、「とてもあてはまる」に1人か2人はついて欲しかったですね。</p>
委員長	<p>今度の本調査は新担任者がアンケートの対象です。新担任者といえども、年度末に近い時期はほぼ10ヶ月経った上でおこなうこととなります。</p>
委員	<p>やはり問6の「少しあてはまる」と「あてはまらない」の違いは何だろうと思いま</p>

	<p>す。また、「あてはまらない」とは、どういう状態なのでしょう。でも、新担任の方がこのアンケートをする価値はあると思います。</p> <p>このアンケートをとおして、特別支援学級担任として、どういったことが求められているのかとか、「担任としてこういうことをしなければならなかったんだ!」ということ振り返ったり、確認したりすることができると思います。</p> <p>「次はこうしたらいいんだな」とか「こういうときには、こうすればいいんだ」という参考にもなると思います。あと、新担任の先生方でも教諭と講師がいるけれど、アンケートの結果に違いが出てくるのかなと思います。</p>
委員長	アンケートには、教諭・講師を選ぶ項目はありますか?
事務局	設けていません。教諭も講師も新担任者としてひとくくりになっています。
委員長	新担任者研修は講師の人も受けていますね。講師の人もアンケートの対象ですね?
事務局	はい。
委員長	<p>正規に採用されて3年か4年目くらいで新担任になった人もいれば、採用はまだされていないが新担任になった人などさまざまですね。講師の人で、新担任をしている人もいます。はじめて講師になり担任になった人、採用されて何年か通常学級での担任経験を積んで特別支援学級の担任になった人、初任者研修が終わって、教諭2年目で特別支援学級の担任になった人等、経験値の違いで、取り組み方に違いが出るのかもしれませんが。それがアンケートの結果にもあらわれるかもしれませんね。</p> <p>教諭か講師なのか等の職種、教職経験年数について、アンケートに入れるかどうかは事務局で検討してもらえませんか?入れなくてもかまわないし、入れてもかまわない。ただ、入れておくと、分析をするとき等に、生きてくると思います。私は個人的に知りたいなと思います。</p> <p>新担任者は、アンケートをとおして、「これはできているからよかった」とか「こんなことができていなかった」と色々な気づきがあると思います。</p> <p>特別支援学級の担任になって10ヶ月が経ち、自分の取組がどうだったかを振り返る良い機会になると思います。</p> <p>そして、担任2年目になったときには、1年目のアンケートを振り返り、すべきこと、しなければならないこと、1年の流れが分かると思います。とても意味あるアンケートになるのではないのでしょうか。</p>
委員	感想ですが、問18で「あてはまる」人が、合計で75%も出ているところを見ると、保護者としては、学校と福祉が連携していることを本当に知らなかったなと思いました。学校が頑張っているのを知らない現実があったんだなと思います。

委員	毎日、放課後等デイサービスと必ず引き継ぎをしているが、「今日、学校の先生が来て、こんな話をした。」と伝えていなければ、親は伝わらないし、分からないです。もっとアピールしていただきたいです。
委員長	「放課後等デイサービスと学校が連携していますか？」と保護者に聞いたら、「それは分からない」という結果。一方で学校の先生に、「放課後等デイサービスの先生と情報交換しているか？」と聞くと、「きちんとしています。」という結果です。
委員	保護者の回答からすると、学校と連携が取れていないということになってしまいます。でも、それは学校も放課後等デイサービスも保護者に対し、お伝えすべき部分とそうではない部分があるので、仕方ないと思います。
委員長	保護者は、学校とも連携しているし、放課後等デイサービスとも連携しているが、学校と放課後等デイサービスの連携については、アピールしないと保護者には伝わりませんね。 「学校と放課後デイサービスが連携しているか」を保護者に聞いたので、「分かりません」となる。当然のことです。 学校は、放課後等デイサービスや児童クラブと連携しているかを聞かれて、かなりいい数字で、「している」となっている。それでよいのかもしれませんが、ただ、保護者が学校と放課後等デイサービスの連携をどれくらい知っているのかという部分は、聞いた方がよいかなとも思うが、難しいところですね。
事務局	保護者用の問12の結果をみると、保護者からも「あてはまる」「少しあてはまる」という回答は多くいただいていた。その問いに対して、「答えにくい質問である」と答えた人が3名。あくまでも、その3名の方が「答えにくかった」という回答だった訳です。その方々以外の回答者20名の多くの方は、「連携できている」という回答をもらっています。補足です。
委員長	私は、2人の委員のいう、「学校と放課後等デイの連携の姿が見えない」という意見が正しいと思います。
事務局	そうですね。十分検討しなければならない貴重な御意見です。
委員長	難問ですね。 ある意味、ワンパックで考えないといけない部分もあるし、引き離して考えられるのかどうかも考えるべきこと。どちらかを残してどちらかをなくすという方法もある。または、違う聞き方をするという方法もありますね。 先程、事務局に預らせてもらったので、事務局で考えてもらいましょう。 他にありませんか？

委員	<p>繰り返しですが、学校と関係機関が連携しているということを保護者が知っていることでは意味があると思います。</p> <p>問6と7の「1回でも」のところも、どのぐらいの回数がベストなのか分からないが、月1回だったら、「あまりあてはまらない」週1回だったら、「少しあてはまる」等、何かできないでしょうか？</p>
委員長	<p>総合教育センターでは、オンライン研修システムで何回以上受講する等がありますか？</p>
事務局	<p>「何回以上」といった規定はないが、8月の特別支援教育推進月間で県内全ての先生方が受講すること、新担任者研修会の事前課題でe-ラーニングをすることになっています。だから、必ず最低でも2～3回はオンライン研修システムを利用することになっています。</p>
委員長	<p>子どもの指導をしている時に悩みが出たときに、その都度使えるようになっているのもありますね。</p>
事務局	<p>学習しようと思えば、障がい種別でもe-ラーニングを用意していますし、疑問点があればホームページから特別支援教育に関するFAQを見ることもできます。</p>
委員長	<p>そういう質問内容にしたらいいですね。</p> <p>今は義務研修がある。だから、義務研修を受けたら「あてはまる」にチェックすることになるので、質問内容を考え直さなければならない。「より良い指導をするために、その都度、自分が必要と感じた時に、活用している」等の内容にしたらいいかもかもしれませんね。すすんで自己研修をしている人が「あてはまる」と回答できる質問にしたらいいですね。</p>
委員	<p>教えてほしいことがあります。冒頭の内容を見ると、児童・保護者用は、回答平均時間が14分になっています。結構、時間がかかっていますね。</p>
事務局	<p>おそらく保護者が聞き取りながら回答を進める必要のあるお子さんの場合、時間がかかると思います。</p>
委員	<p>自分で喋ることができる子は早く答えられると思います。そんな子もいれば、保護者が読み上げたり、説明したりしながら、回答する子もいると思います。それで時間がかかっているのではないかなと思います。</p>
委員長	<p>事務局の方から何か伝えておくことや聞いておきたいことはありませんか？</p>
事務局	<p>学校の先生方にお聞きしたいです。今回のトライアルをするにあたって、依頼文</p>

	<p>書等を作成したのですが、学校の方から保護者に渡していただく際に気をつけたことや工夫などがありますか。</p>
委員	<p>管理職と相談をして県教委からの文書、管理職の作成した文書、アンケートの3つをマチコミメールで送ったのに加えて、紙媒体でも封筒に入れて、連絡ノートに挟んで持ち帰らせました。</p> <p>連絡ノートにも「県からこのようなアンケートが来ているので、ご回答をしていただきますようお願いいたします。」と記載しました。</p> <p>連絡ノートに挟んでいた封筒が無くなっていたので受け取ったのだなと分かりました。</p>
委員	<p>マチコミではなく、紙で連絡をしました。担任が連絡ファイルに挟んで、生徒に渡しました。また、外国籍の保護者の方がいますので、その家庭については、生徒から保護者に説明をするように伝えるとともに、紙に説明を書いて伝えました。</p>
委員	<p>アンケートを他の手紙より目立たせたかったので封筒に入れて、連絡帳に「このようなアンケートの協力がきていますのでお願いします。」と記載し、渡しました。</p>
委員	<p>はじめは、マチコミメールだけでもいいかなと思いましたが、紙媒体で確実に届くようにした方がよいと学校で判断しました。</p>
事務局	<p>先程、紙媒体で回答を得て学校の方で Forms に入力したというご意見をいただきましたが、背景や状況をもう少し詳しく教えてください。</p>
委員	<p>できるだけ回答していただこうと思い、その過程には、何度もアンケート実施のお願いをしました。「回答したら連絡してください」と連絡帳にも書きましたが、「回答した」という返事がなかったので、「紙での回答も可能です。」と連絡帳に書くと、紙での回答を得ることができました。学校で、その家庭の生徒と一緒にタブレットを使用して、紙に回答いただいた内容を入力しました。</p>
委員長	<p>難しいところですね。臨機応変に学校で対応いただきありがとうございました。</p> <p>いくつか検討すべき点がありました。事務局は、協議で得た意見を活かし、本調査に向け、準備を進めてください。</p> <p>以上で協議を終わります。</p>

富樫委員長

清重委員

--	--

富樫委員長

小倉委員

富樫委員長

小倉委員

吉田委員

富樫委員長

吉田委員

富樫委員長

松尾委員

--	--

--	--

富樫委員長

富樫委員長

松下委員

富樫委員長

小倉委員

富樫委員長

松尾委員

富樫委員長

松尾委員

富樫委員長

島委員

--	--

富樫委員長	